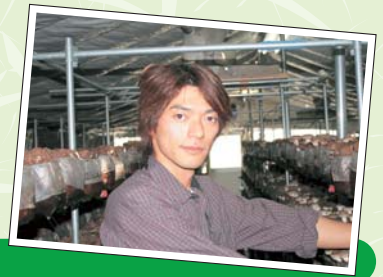


いなべの農業 担い手さん

今回は若手で認定農業者として、シイタケの菌床栽培に励んでいる藤原町の藤田さんを紹介します。

藤田 泰三さん（藤原町上之山田）



経営規模はどれくらいですか？

ビニールハウス4棟で約2万菌床のシイタケ栽培を、家族とパートの人に手伝ってもらいながら行って、年間約14tを、地元の大型スーパーや名古屋の市場等へ出荷しています。

シイタケの菌床栽培をやろうと思ったのは？

小さいころから、父が原木栽培をやっていてその手伝いをしていました。原木栽培は規模を少しずつ縮小していたのですが、5~6年前に知り合いから菌床設備を譲り受けたのを機に、菌床栽培を始めました。



苦労することは？

菌床は、おがくずを基にして栄養剤などを混ぜてブロックを作り、そこにシイタケ菌を植え付けるのですが、この作業が大切です。手を抜くと収穫量が落ちますし、雑菌が入るとカビが生えるなどして使いものにならなくなります。主に、冬場の作業として菌床作りをしています。冬用の菌、夏用の菌を分けて植え付けていて、一年を通して安定した収穫ができるようにしています。それと、菌は生きていますので、湿度や温度管理に気を使います。



今後の目標は？

規模拡大をしていくため、現在、ハウスの建設を行っています。5万菌床まで増やし、1菌床当たりの収穫量を4割ほど増やすよう工夫していくつもりです。品質も向上させ、「おいしいシイタケやねえ」といわれるような良いものを作りたいです。



建設中のハウス



問 藤原庁舎 農林商工課 T 46-6306 F 46-6319

編集後記

暖かい日が多くなり、子どもを連れてぶらり梅林公園に行ってきました。県外ナンバーの車も多く、たくさんの方が訪れ、梅の花を楽しんでいました。あちこちで立ち止まり「うわー！いい香り…」「すごくきれい！」と感嘆の声を上げていました。特に枝垂れ梅は「つるしびな」を思わせ、見ごたえ十分でした。そんな中、私たち親子だけではないと思いますが、花より団子で、団子やトウモロコシなどを焼く甘い香りに誘われ、ついつい食べ過ぎてしまいました。

いなべいきいきマイタウン

▶ 《美し国市町対抗駅伝大会》 市の部 6位入賞！

3月16日に開催された「美し国市町対抗駅伝大会」に出場した「いなべ市」は市の部6位（総合7位）でゴールし、念願の入賞を果たしました。スタート



はやや出遅れたものの、3区で小川彩香選手（デンソー）が16人のごぼう抜きを演じ、伊勢市に次いで2位でタスキをつなぐ場面もありました。選手がひとつになって全員でタスキをつなぎゴールした瞬間、応援の家族、いなべ市の役員、関係者から大きな声援と歓声が沸き起こりました。この大会を通じて、合併5年目のいなべ市に更なるまとまりができました。ご声援ありがとうございました。

発行/〒511-0293 いなべ市員弁町笠田新田111番地 T 0594-74-5820 F 0594-74-5821
編集/企画部 広報秘書課 <http://www.city.inabe.mie.jp/>
平成20年3月31日発行 Vol.53



生活情報「まいめる」
QRコード



モバイルサイト
QRコード



いなべ市ホームページ
(携帯電話用) QRコード

※記事中有るQRコードは一部の携帯電話でご利用にならない場合があります。